

4月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

83,778円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松用紙代・インク代)	18,295円
交通費(駐車場、燃料代)	8,488円
通信費(折込代、携帯電話代)	56,995円
支出計 25/4/1~25/4/30	83,778円
寄付 匿名さん	1,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
25/5/1

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第227号

19400部発行

新病院建設事業の進捗について

2025年度の事業、2026年度の開院と2028年度グランドオープン

年度末に新病院建設事業費を37億円(中間金分)借り忘れていたことが明らかになり、3月28日の臨時市議会で、積立金などから収入不足を穴埋めする(議決が必要)補正予算案が可決されました。

また、ここでは触れませんが2度、インフレスライドで建設事業費が増額されています。

一方、建設事業は順調に進み、建物外観の鉄骨がほぼ組み上がっています。ここで改めて新病院建設事業の進捗について説明します。

■新病院の名称が決まる

現在建設中の新病院の名称は、小田原市立病院から、小田原市立総合医療センターと変更されます。

■2026年春の開院までの事業内容

表1に示すように、2026年2月下旬の本体工事竣工を目指し、粛々と工事を進めます。また竣工前から大型医療機器の設置を始め、開院(2026年5月上旬)までの工期としています。

竣工と同時に家具等設置・システム工事とトレーニングを始め、開院まで続けます。

2026年度に入り、引越を開始します。

表1 開院までと2期工事のスケジュール

	2025年度	2026年度
	竣工(2月)	開院
本体工事		
開院準備		
2期工事		
大型医療機器設置		
家具等設置・システム工事		
トレーニング		
引越		
解体工事設計		
解体準備・解体工事		
立体駐車場・外構設計		

■2期工事(解体・立体駐車場・外構)

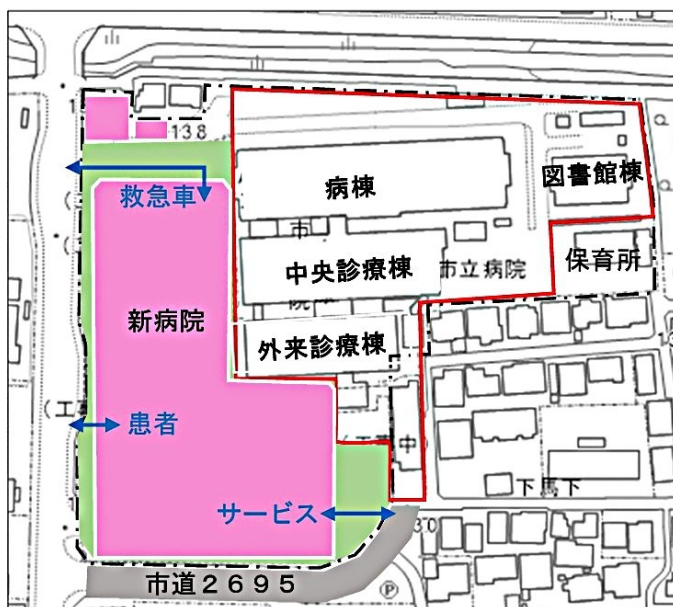
解体工事の設計を2025年度の早い時期まで、解体準備と解体工事を本体工事竣工後から行います。

解体工事設計終了後に、立体駐車場と外構の設計を開院の前までに終わらせます。

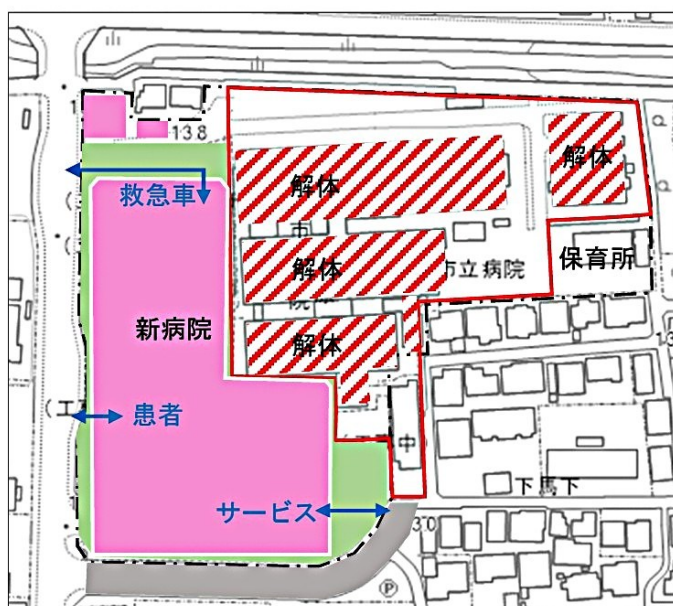
立体駐車場は、2028年度中の供用見込みです。

右欄と裏面に2期工事の整備手順を示します。

STEP1 開院 仮囲い



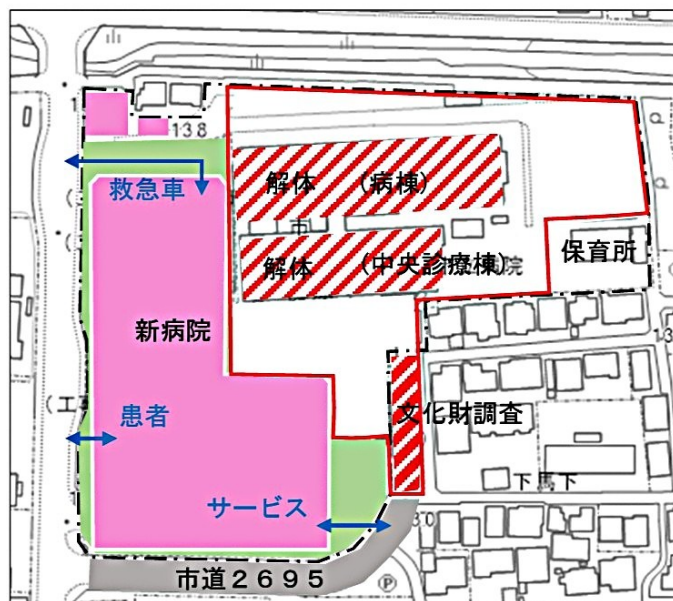
STEP2 解体



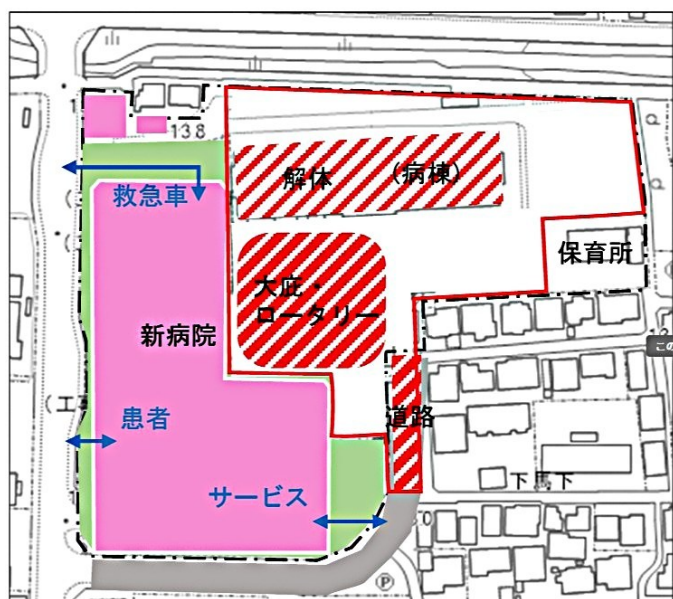
2期工事の整備手順

STEP3で、まず旧市立病院外来診療棟を解体し、**道路部分の文化財調査**を行います。STEP4で、中央診療棟の解体後、大庇とロータリ整備。

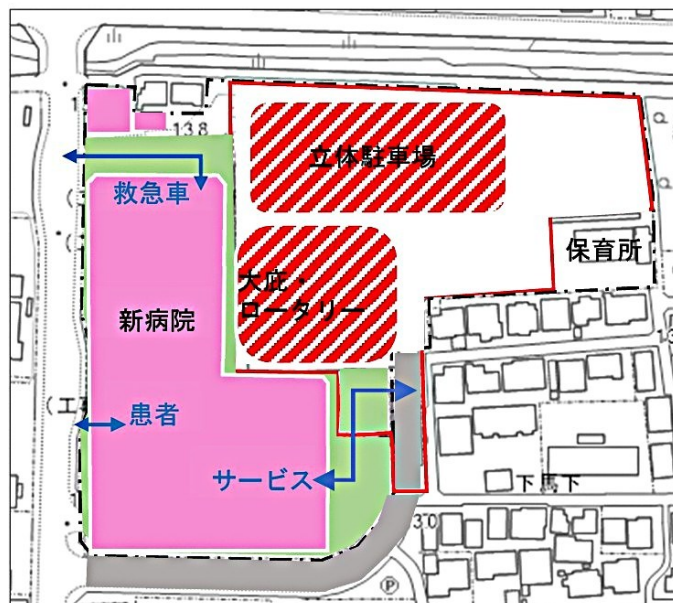
STEP3 解体、文化財発掘



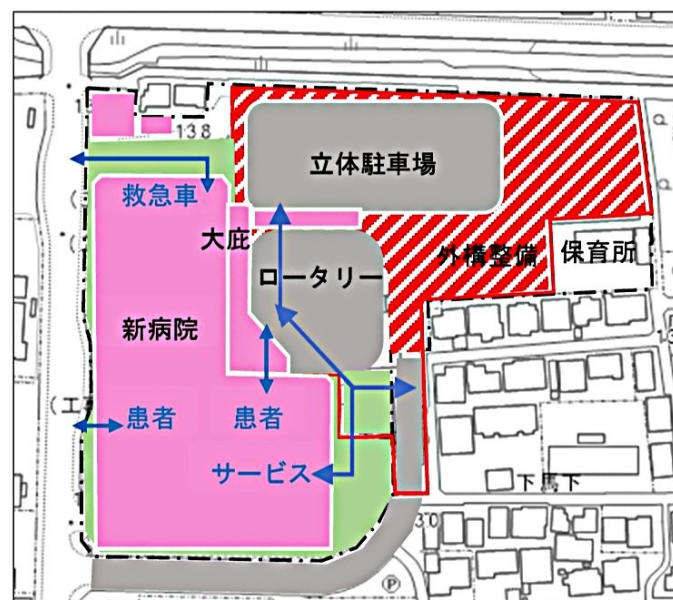
STEP4 解体、道路・大庇・ロータリ整備



STEP5 大庇・ロータリ・立体駐車場整備



STEP6 外構整備



立体駐車場は2028年度中の供用を目指しますが、それまでは、有料の病院駐車場と2ヶ所の無料臨時駐車場を利用することになります。

ロータリ内にバス停ができる予定で、バス利用者が県道を横断することがないようにします。

■お知らせ■

5月の議会報告会は、都合により中止します。



公式HP
月刊武松パワパパー他



X (twitter)
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



小田原市
新病院建設事業

